

活力みなぎる緑の郷土

議会だより

なかしべつ



町民ラジオ体操（4月1日～10月体育の日まで）文化会館駐車場

平成14年5月

No. 53

平成14年

3月定例会

平成十四年三月定例会は、三月四日から十四日まで開かれ、一般行政報告、教育行政報告の後、平成十三年度各会計補正予算（専決処分を含む）など、十件を原案通り可決しました。

また、平成十四年度の施政方針、教育行政方針が示され、一般質問には六名の議員が九項目について、理事者の考えを質しました。平成十四年度一般会計予算、特別会計予算六件、企業会計二件、条例十一件を議員全員による予算審査特別委員会を設置し、慎重に審議され原案通り可決しました。

平成十四年度一般会計予算総額は、百四十九億八千四百万円となり、主なものは、（仮称）中標津町総合福祉センター整備事業の最終年度費五億九百二十九万円、中標津中学校校舎増改築事業費に五億九千五百五十万円、中標津農業高等学校整備事業グラウンド造成費一億円、中標津町運動公園整備事業費一億七千一百一十万円などがあります。

全会計の予算総額は、二百七十二億五千八百四十八万二千円となりますので参考にして下さい。
（詳細については、新年度予算主要施策概要が全戸配布になりますので参考にして下さい）



運動公園施設配置計画図（事業年次平成14年～20年）

一般行政報告

要望について

要請しました。

寄贈金品

根室地方総合開発期成会として、牛海綿状脳症（BSE）発生に伴う対策として、牛肉需給調整対策の充実、他五点と酪農・畜産振興対策四点を

町に現金三件、物品一件、

社会福祉協議会に現金二十五件の善意が寄せられました。

教育行政報告

各種大会出場結果について

全道中学校スケート大会に中標津中七名、広陵中五名、計根別中一名が出場し、うち二名が山梨県での全国中学校スケート大会に出場して活躍をしました。

また、文化面では北海道管楽器個人コンクール、農業高等学校農業クラブ実績発表大会に出場しました。

平成十三年度根室教育実践表彰について

根室管内教育実践表彰を養老牛小中学校が「地域に根ざしたボランティア教育の推進」で受賞、教育実践論文成果表彰では中標津東小学校が教科教育で「総合賞」、西竹小中学校が「性に関する指導」、丸山小学校が「総合的な学習の時間」で共に実践賞、養老牛小中学校が「総合的な学習の時間」で奨励賞を受賞。

青少年「いのち」を守る住民大会について

本年から主体が行政から実行委員会に移行して初めての大会でしたが高校生も参加し企画会議を通し多様な意見交流や世代間の意識の違いなどを超えての大会になりました。丸山小学校生徒、教員四〇〇名によるミュージカルでオーブン、分科会、相談会、若者担当コーナーをおこない世帯をこえた大会になりました。

総合文化会館大ホール水噴霧消火設備作動事故について

原因究明に人為的開放及び機械的開放の両面からあらゆる角度から調査、確認作業を行った結果
一、意図的、人為的開放を防止する手だては十分でなかったが、可能性はかぎりなく低く、一方機械的開放の可能性も高いが原因として特定できない。
二、偶発的、不可抗力的な事故とはいえず日常的な保守点検で防止できなかったのかが点で事故を予想するのは、極めて困難であるが、今後、



青少年の「いのち」を守る住民大会

大会のオープニング

日常の点検を強化、関係職員の危機管理の徹底を図る。
三、事故を真摯に受けとめ深く反省し、今後の教訓とする。
関係職員に対し、危機意識の喚起を図り、利用者の方々に信頼される会館として、一層の管理運営に万全を期するところです。

児童、生徒交流事業について

今年で第九回になりました若竹小学校と沖縄県伊平屋村立小学校との交流事業は、二月四日若竹小学校を会場に伊平屋村立小学校と野甫小学校の児童とその引率者を含めて四十二名との交流学習が実施され、沖縄の子どもに冬の生活という貴重な体験を伝えることができました。



沖縄の民族舞踊披露

一般質問

あなたにかわって町政の考え方を質す

6名の議員が町理事者に質問しました。
その内容を要約し掲載します。

PFIの活用を

十分考慮の上研究

殿守 富 議員

町 長

質問

長引く景気不況の続く中、自主財源の根幹をなす税の伸びも期待できず、国からの地方交付税も大幅削減されている現状にあり、各自治体はPFIを積極的に活用し、まちづくりを進める動きが出てきている。

なども行われている。

このような財政状況を踏まえ、中標津町でもPFI事業について議論する時期と思うが、今後町長は、公共事業投資にPFIの活用をどの様に考えていますか。

町長答弁

町財政もかつてない危機的状況に置かれ、様々な行財政改革や各種基金の活用、各種使用料、手数料や国民健康保険税の改定

PFI事業を進めるには従来型の手法に比べ、契約締結に至るまでの日数と金銭上の負担の

増、良質なアドバイザーの確保など、事前解決する問題もある。しかし、民間事業者の経営上のノウハウや技術能力を活用し、事業者の自主性と創意工夫を尊重し、設計・建設・維持管理・運営を一体的に任せられることで、事業コストの削減が期待できる。十四年度の施政方針で新しい時代に向けての認識を持って行財政改革を進め、まちづくりの効率性を図る上で魅力ある手法と考える。

全国では現在、実施方針が策定、公表されたPFI事業は四十程だが事業者は先進の企業が主流と察する。

PFIとは

民間資金による社会資本整備であり、民間の資金や経営ノウハウを導入して、道路や公園、学校、社会施設など公共事業、施設を効率的に建設、運営することを目的とした方式です。

このことから、本町における民間事業者の状況も十分考慮の上、研究を進めたいと考える。

フレックスタイムの導入は

更に検討努力

平川武雄 議員

町 長

質問

町の財政は厳しい状態にある中、町職員をはじめ私共議員においても、自らの諸手当等を削減し、経費節減にむけて検討しておりますが、そこで今ひとつ考えていただきたいことは、一般職を対象とした「フレックスタイム」の導入であります。

これを導入することにより時間外手当の軽減ほか、数多くのメリットが予想されます。

実施にあたっては多くの障害があることと



思われますが、その部分は最大の努力と、工夫により排除され、町民サービスの低下を防ぎ、是非とも実施にむけてご検討いただきたくお願いを申し上げます。

町長答弁

フレックスタイム制については、変形労働時間の一つであり、この適用は、原則的に労働基準法が適用となりますが、地方公務員法により、一部の内容は適用除外となっております。すでに、図書館、町立保育園

などでは実施しておりますが、休日等の勤務については、可能な限り、休日振替制度を活用し時間外手当の縮減に努めております。

したがって一般職に適用した場合、一ヶ月単位では可能となるも、そのほかの取り扱いには除外となります。

このようなことから、この制度拡充は難しいものがあります。しかし、今後、新たな行政サービスが生じた場合、更に検討し努力を致します。

各種不納欠損金の処理

三友盛行 議員

滞納の徴収には法的手段も辞さず 町 長

質問

十四年度では大幅な予算の見直しが求められています。財政の基本は税を中心とした歳入であり、税の滞納、不納欠損金を出しては、納税者の理解が得られません。

現行の欠損金の処理方法、他町村と比較、検討、過去十年間の欠損処理額、そして、今後の方策についてお示し下さい。

町長答弁

本町の町税の収納状況は年々低下を招いており、十二年では収納率は八九%、滞納額で二億六千九百万円、不納欠損額で二千四百六十万円となっております。憂慮すべき事態となっております。不納欠損の処理方法ですが、会社倒産、競売不配当、本人死亡、生活困窮、所在不明等の理由により、即時消滅、執行停止、時効消滅等地方税法に基づき適

法に処理しています。

他町村との比較であります。当町と税の収納状況が酷似している自治体に、職員を出向かせ、状況把握に努めていきます。

過去十年間の不納欠損額、約一億四千八百万円です。

十四年度の収納向上対策への取り組みとしては、私を本部長とし、職員全員が推進員となり、全庁あげて取り組みます。第一に自主納付向上対策とし

納税奨励の懸垂幕



て広報誌の活用、納税相談、五月から十二月まで収納窓口に休日開設、夜間の延長を致します。また、徴収嘱託員二名を雇用し、更に道より税務専門職員の派遣を仰ぎ、実践的指導を受けレベルアップを図ります。財産調査、差押等強制手段なども辞さない覚悟で取り組みます。

少子・高齢化対策

三友盛行 議員

子育ての公的負担の研究整備 町 長

質問

少子・高齢化は一つの熟語として使用されますが、少子化と

高齢化は全く別な対策を必要としています。

少子化対策は安心して、子どもを産み、育てる環境を行政を中心として、社会全体で構築すべきものであり、子どもは社会の共通の財産です。それ故に基本として、公費負担が必要条件となります。

一方、高齢化対策では安心して老後を暮らせる環境を整備することが行政に求められますが、

高齢者は個として自立しており、基本として応益応能の負担が必要条件となります。

しかるに、現行では高齢化対策は無料、低料金であり、子育て対策は個人負担を中心に行われていますので、時代の要請に応えた行政を求めます。特に認可外保育所に対する支援策が不足していると思われる

です。

町長答弁

福祉サービスの応能負担原則を踏まえ、高齢者福祉等の全般にわたる事業や、受益負担のあ

り方を見直す時期にきていますと考えています。

また、急速に到来する本町の少子化対策として、児童育成総合推進計画を策定し、子育て支援センター事業を推進します。子どもの育児、養育等の支援も必要と考えますが、町独自の対策は昨今の財政下では困難です。

認可外保育所は町の保育行政の補完的な役割を担っていることは十分認識しております。

同保育所の運営支援、園児の保護者負担の軽減等、今後研究し、整備を考えてまいります。



認可外保育所

福祉団体に対する補助金の減額

高田重樹 議員

すみやかに各団体との説明会開催

町 長

質問

大変きびしい財政事情から減額が予想される各種団体の補助金、助成金の中で、

- 一、一律減額が予想される、福祉関係団体の数と、減額する金額の合計。
- 二、減額をしないと予想される福祉団体の数とその理由。
- 三、町長の町政に対する基本姿勢である「公平・公正な町政」

と町民との対話姿勢から、減額が予想される、これら団体にどのように説明し、理解・納得を得ようとしていくのか。

町長答弁

町としても大変きびしい財政事情から各団体に対する補助、助成金の見直しをかけて予算編成にのぞみました。

一、減額予定の福祉団体は、中標津老人クラブ連合会他、十団体となり、減額予定補助金

立更生に向けての作業訓練に必要な人件費で、減額により支障をきたすと思われるので除外しました。

等の合計は四十一万七千円になります。

二、減額予定のない団体は

共同作業所「森の家」運営

委員会のみで、理由は、心身障害者の社会参加促進と自



三、減額予定団体の今後の計画、予定に大きくかわる問題なので、議会終了後、すみやかに各福祉団体を初め各団体との説明会を開催し理解を頂くように考えております。

口座振り込みの領収書、ハガキの省略廃止

高田重樹 議員

経費節減の方向からも検討

町 長

質問

今日、上下水道料金、各種公共料金、諸税の口座振り込みを相当数の町民が利用していると思われませんが、これらの振り込み後にハガキの領収書が発行されてきます。

これらは、必要な人、必要でない人があり、一律に発行されることは、ムダなことではないでしょうか。

省略、廃止は町民、行政共に

痛みを伴わない「行政事務の簡素化」、「経費節減」になると思うのですが現在の考え方と今後検討することは無いかおたずねします。

町長答弁

上下水道料金は五千九百件の六割が口座振り込みを利用しており、利便性、収入事務の迅速化をはかる一方で利用者が自己の履行状態が把握できない事態

の防止のため領収書通知のハガキを発行しております。

検針票兼用の領収書ですが、

本町は使用した月の翌月に検針し、使用料の振替は、その検針から翌月となっており問い合わせがあることから、領収及び使用月の振り替え日をハガキで通知しております。

領収書の必要性、振替の通知方法、経費軽減とも含め検討してゆきたい。

また、町税の口座振替納付は約四千六百件で約一割の方が利用しておりますが、領収書の必要性については、現在納付書発送時に領収書の必要の意志確認

をし必要のない方には領収書を発送しない方向で検討しているところです。



領収通知のハガキ

中標津町の目指す戦略的合併構想

松村康弘 議員

合併を望まれるような町づくり 町 長

質問

中標津町の生命^{いのち}達の産業を基盤に商業や文化などの都市機能を集積させ、「交流都市」として発展してきました。

この度の国による合併強制劇は全国の自治体数を三分の一にして経費の圧縮をしようという意図が強く、それでは気運は高まってはきません。私達の地域は、国後、択捉の以東、以北に交流を広げていく

という「国際交流都市」への発展の可能性ががあります。

合併による各地域の更なる発展の可能性であり、標津にあつては三百五十トン排水量のマリオンパークの始動であり、羅臼では世界遺産登録の広域化です。これらの地域全体の振興とわが町が培ってきた「自由な気風」を更に伸展させることを念頭に戦略的な合併を構想されてはいいかがでしょうか。

町長答弁

大変参考になるご意見をいただきました。

現在管内町村会の中に「市町村合併検討会議」を設け研究を始めましたが、将来のまちづくりという大きな視点のもとに検討・研究して悔いを残さないよう努力したい。

本町は町民の進取の気性に支えられ空港を玄関口として今日の発展を築いてきました。領土問題のいかにかわからず更なる交流を進めていこうと考えています。いずれにしても本町と合併をしたいと願っていただけるまち

不況感と信用不安に対する予防策

松村康弘 議員

強い危機意識を持って対応 町 長

質問

農業をめぐる環境も厳しいものがありますが、市街地における建設業、小売業、サービス業においても不況感と信用不安が高まりつつあります。

建設業は町における経済効果が二十%を占めますが、三年後には当町発注の公共事業も激減し、合併を強力に推進する荒療治が必要ではないでしょうか。また、住宅金融公庫廃止後の対応や、市街地再開発の研究や、

関連倒産防止の手立て、就職相談の窓口開設は考えられませんか。

最後にこの不況時に元気の出る様な人育てのソフト事業やボランティア活動の具体策をお聞かせください。

町長答弁

この厳しい経済状況下にあつて、強い危機意識を持っており、建設業の経営構造の改革が必要であるので、建設協会に働きか

けていきたい。

市街地の再開発については、様々な前提条件があり困難を伴うが、商業者とともに課題や対策について検討してまいります。

金融対策として中小企業融資制度を設け、保証協会の保証料全額町費補助で金融機関と協力し対応しているが広報を利用して周知を図りたい。

次代を担う人づくりのため、町内のあらゆる機会を利用して対応し、ボランティア活動の活性化のためにボランティアセンターを総合福祉センター内に整備し充実させていきたい。

づくりを目指して精進していく事が大切と考えます。



新たな眺望（知床連峰）



施設の敬老会

高齢者入所施設の整備充実

田中利夫 議員

療養型病床の整備の必要

町 長

質問

高齢者が安心して暮らし、家族も充実した生活ができる、介護老人保健施設の整備を積極的に検討していただきたいと思えます。

また、町立病院のベッド稼働率が八十%程度と聞いておりますが、あきベッドの有効利用の

ため、医療型病床の整備充実に活用されては如何でしょうか、町長のお考えをお伺い致します。

町長答弁

中標津町の住民が管外の医療施設に入所されていますので、地域のニーズにお応えするべく整備検討をして、方針を決定してまいりたいと思います。

次に、町立病院における医療型病床整備については、医療法の改正により、平成十五年八月までに、特定機能病床、療養型病床、一般病床に機能分化をして、認可・開設の義務付けがされますので、町立病院においての医療療養型病床の整備が必要であると考えております。

関係機関との調整や地域の動向をふまえ、平成十五年度より地域住民への医療サービスをを行うと共に、経営の健全化を図って参りたいと考えております。

14年1月から3月までの行事関係

期日	行事内容	出席者	期日	行事内容	出席者
1月6日	町新年交礼会(中標津・計根別)	議長 他	2月13日	各賞受賞祝賀会	議長 他
7日	町成人式	議長 他	14日	議員定数検討特別委員会	
8日	消防団出初式	議長 他	15日	建設常任委員会	
10日	議会広報特別委員会		18日	文教厚生常任委員会	
16日	議会広報特別委員会		26日	議会議員の政治倫理に関する特別委員会	
18日	第1回臨時会		27日	議会運営委員会	
18日	中標津町表彰式	議長 他	3月1日	消防他一部事務組合議会	議長 他
18日	文教厚生常任委員会		4日	3月定例会本会議(1日目)(会期4日~14日)	
22日	議員定数検討特別委員会		5日	3月定例会本会議(2日目)-予算審査特別委員会(1日目)	
24日	文教厚生常任委員会		6日	予算審査特別委員会(2日目)	
30日	建設常任委員会		7日	産業常任委員会・建設常任委員会	
31日	議会議員の政治倫理に関する特別委員会		8日	総務常任委員会・文教厚生常任委員会	
31日	根室管内1市4町議会正副議長協議会	正副議長	11日	予算審査特別委員会(3日目)	
2月1日	議会運営委員会		12日	予算審査特別委員会(4日目)	
4日	根室支庁管内議会定期総会正副議長会議	正副議長	13日	議会運営委員会	
5日	議会広報特別委員会		14日	3月定例会本会議(3日目)	
6日	4合同常任委員会・産業常任委員会		18日	議会広報特別委員会	
7日	北方領土の日根室管内住民大会	議長	26日	議会広報特別委員会	
8日	文教厚生常任委員会・総務常任委員会		29日	議会広報特別委員会	
12日	文教厚生常任委員会				

特別委員会レポート

3つの特別委員会の活動を紹介します

議会広報特別委員会

議会と町民のみなさんのパイプ役として、親しまれる「議会だより」の発行に精力的に取り組んでおります。

五名のスタッフ全員が担当を受けもち、誤字、脱字の確認や、写真撮影、取材など、全体的な紙面の構成などに心を砕いております。

また、議員の活動や、常任委員会、特別委員会の活動と議会の議決などを紹介してまいります。

今後さらにも一人でも多くの町民のみなさんに読んで頂ける「議会だより」の紙面づくりに努力してまいります。



議員定数検討特別委員会



市町村議会の議員定数が平成十一年の国会で改正され、人口二万〜五万人の定数は二十六人の範囲内と定められた。

それに伴い、各自治体は新しく町条例を制定することになり、これを受け昨年十二月定例会で「議会定数検討特別委員会」を設置、四月には全有権者の中から無作為で千人に男女別、年齢別、投票所別にアンケート実施中であり、さらに五月には五十二団体からアンケートを求め、町民の声を反映し、九月に結審する予定です。

議会議員の政治倫理に関する特別委員会

平成十三年十二月定例会において「議会議員の政治倫理に関する特別委員会」が設置され、すでに全国各地で条例化されているこの問題について調査研究を進めております。

本年九月の定例会をめぐり条例化の方針ですが、それまでに中標津町の状況にあった条例にしたいと、鋭意努力を重ねております。



平成十四年

中標津町議会

第一回臨時会

(平成十四年二月十八日開催)

町道路線の認定及び廃止について

・新規に町道として認定されたのは二十三路線

・廃止されたのは六路線

・議員提案による「中標津町きれいな街にする条例」採択される。

・条例の目的では「ごみの散乱防止」犬のふん等の適正処理を定め清潔で住みよい街づくり。

・条例の基本理念では、町をはじめ各分野での役割を果たし協力して居住環境の保全、地域では自主的活動に積極的に参加し、ごみ散乱防止・犬のふん等の適正処理を日々実践すること。

・条例で町は総合的な施策の策定、町民等は屋外で生じさせた吸殻、空き缶等の持ち帰りか容器へ収納すると共に屋外喫煙時の携帯用吸



駐車場に捨てられた吸殻など

殻入れ持参、犬の散歩時のふん処理袋持参、町内会等のごみ散乱防止施策に協力する、最終的には何人も吸殻、空き缶等、犬のふんを捨てたり放置してはならないこととなっています。町民みんなで本条例を守りましょう。

3月定例会で決まりました

平成14年3月4日から14日まで開催し議決された主なものを掲載いたします。

3月補正予算(13年度分)

一般会計予算は

519,133千円を追加し、16,534,692千円となりました。

国民健康保険事業特別会計予算は

109,534千円を追加し、2,246,562千円となりました。

老人保健特別会計予算は

33,814千円を追加し、1,860,580千円となりました。

介護保険事業特別会計予算は

18,570千円を追加し、817,595千円となりました。

町営牧場特別会計予算は

8,100千円を追加し、109,395千円となりました。

下水道事業特別会計予算は

7,315千円を減額し、1,703,789千円となりました。

水道事業会計は2,582千円減額し、792,933千円となりました。

町立中標津病院事業会計予算は

560千円減額し、4,628,349千円となりました。

平成14年度各会計予算

一般会計予算

14,984,000千円

国民健康保険事業特別会計予算

2,131,741千円

老人保健特別会計予算

1,635,402千円

介護保険事業特別会計予算

877,868千円

公設地方卸売市場事業特別会計予算

21,694千円

町営牧場特別会計予算

100,048千円

下水道事業特別会計予算

1,788,351千円

水道事業会計予算

895,299千円

町立中標津病院事業会計予算

4,824,079千円

条例の制定と改正

主なものを掲載します

議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例

- ・議員の費用弁償を削減しました。

特別職の職員の給与に関する条例

- ・特別職の期末手当と旅費が削減となりました。

職員の旅費支給に関する条例

- ・職員の日当と宿泊料が削減となりました。

教育委員会管下学校施設の使用条例

- ・体育館、温水プール、テニスコート、野球場、武道館の高校生以上の使用料が増額となりました。

- ・パークゴルフ場の使用料が高校生以上に新設され正美公園では一日券二百円、シーズン券五千円、森林公園

では一日券四百円、シーズン券一万円となりました。

- ・老人福祉センター、交流センター、総合文化会館の使用料が増額となりました。

シルバースポーツセンター設置条例

- ・シルバースポーツセンターは使用料無料から一人一日百円となりました。

老人医療費の助成に関する条例

- ・町では六十七才以上の医療費助成を行っているが、これを段階的に七十才まで引き上げることになりました。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例

- ・家庭から排出されるし尿処理手数料助成率が引き下げとなりました。

国民健康保険税条例

- ・所得割の率が百分の八、四から百分の十一に、均等割が二万四千円から三万六千円に平等割額が三万円から四万七千円にそれぞれ増となりました。

- ・保険税の軽減率を、六割から七割に、四割軽減を五割に改め、二割軽減を新設しました。

下水道条例及び集落排水施設管理条例

- ・下水道の基本料金が八立方メートルで千八百八十四円が千三百八十四円に引き上げられました。

- ・超過する一立方メートルの料金も百四十八円から百七十三円に引き上げられました。

公園条例及び緑ヶ丘森林公園設置条例

- ・町の公園管理運営を(株)中標津都市施設管理センターに委託することになりました。
- ・緑ヶ丘森林公園の施設使用料が改正になりました。



使用料が有料となったシルバースポーツセンター

意見書

地域雇用対策の拡充を求める意見書

提出者 高田 重樹 議員

負担増反対、医療制度の抜本改革を求める意見書

提出者 阿部 強 議員

人事

固定資産評価審査委員会委員に選任

下地 一男 氏

根室支庁管内町村公平委員会委員に選任

数藤 輝久 氏

平成十四年三月定例会

予算審査特別委員会二問一答

主なものを掲載します

質問

（株）中標津都市施設管理センターへの補助金について、この会社設立は、道立公園と町の公園管理を一元化し、経費の圧縮が目的ですが、専務の報酬が月額二十五万円、常務を含めて月額六百四十万円以上の補助金となつています。

常勤の役員が二人必要ですが。

雇用や失業の現状から役員報酬を押さえ現場の人員を一人でも多く採用し、人員を配置する方法が取れませんか。

答弁

私が社長ですが、常時会社を見ることは出来ませんので、会社の危機管理も含めて、専務、常務を配置しています。

勤務内容からして、報酬の額が高いとは考えておりません。

質問

庁舎内分煙化推進経費として、九十九万八千円が計上されているが、禁煙化という時代に逆行

するのではないか。

答弁

禁煙化が最も望ましいと理解しているが、喫煙者もあり、次



予算審議中の議場

善の策として分煙化を推進したい。

質問

財政調整基金繰入金三億円を

見込んでいるが、今後の見通しについて。

答弁

十三年度末の残高は九億六百万円であり、基金からの一般会計への繰入は限界が見えており、更なる一般会計等の見直しを図り、同基金の残高確保に努めた

質問

総務費の中で町民総合賠償補償保険料、百三十五万七千円の内容について説明願います。

答弁

町村等が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び、町村等の業務遂行上の過失に起因する事故について、町村等が法律上の損害賠償責任を負う場合の、損害を総合的に填補する保険制度です。

質問

武道館、温水プール使用料は、高校生、六十五才以上の方には減額されているが、パークゴルフ場の使用料については、その区分がないのはなぜか。

答弁

パークゴルフ場の利用状況から高齢者の利用が多いため、料金設定の前提として高齢者を対象とした料金設定を致しました。

質問

パークゴルフ場の使用料金は、午前六時から午後六時の間は、管理人が徴収するが、それ以外は自主的とのこと、管理人のいない徴収となれば、不公平になる可能性が多いことから、その期間は少ないため、無料としてはどうか。

質問

パークゴルフ場のシーズン券は、中標津町の設備である森林公園の料金で、正美公園も利用できるようにしてもらえないか。

答弁

条例修正ではなく、運用の面にて前向きに検討を致したく考えている。

質問

（株）中標津都市施設管理センターが設立されたが、道立ゆめの森公園内での怪我などの場合、管理責任があるのか。

答弁

遊具など施設に欠陥がある場合は、道の責任です。

質問

保険に入る考えはないか。

答弁

平成十四年度より保険に加入することになっていきます。

質問

パークゴルフの有料化について近隣町村と話し合ったことがあるか、また、他町と同じ使用料にならないか。

答弁

森林公園パークゴルフ場は三十六ホールとミルクコースも含めての料金であります。

質問

今年四月よりベイオフが実施されますが、町の考え方を説明して下さい。

答弁

地元中心に考えています。また、国・道の方針にそって安全を考えていきます。

質問

小中学校の給食について、教育行政方針に、朝食の欠食や個食の増加、偏った栄養が指摘され、学校給食が重要で、栄養と献立を配慮した地場産品の食材をとあるが、町長の施政方針に、BSE対策で消費拡大に努めるとありますが、
・各学校の牛肉の使用状況
・朝食欠食と個食の増加の調査

状況についてお知らせ下さい。

答弁

牛肉のコスト面で全校的な使用ができず、ビーフカレー等で数回行っています。

朝食欠食と個食の調査はしておりませんが、

今後取り組みたいと思います。

質問

公共施設使用料の改正と有料化について、施設全般に行われているが、半年、一年前から調査、組織団体等への説明、議会との協議を経て提案すべきで、なぜ早急なものになったのか、その経緯について。

質問

シルバースポーツセンターは高齢者利用が多いのに、一律見直しとした理由。

答弁

一連の経費削減と切り下げ実施の一貫の中で聖域なき、使用料の見直しをしたそれぞれの見方、意見はあると思いますが、一応の積算の中で提案しました。議会、町民の十分な理解なし



予算審議中の議場

で、せざるを得なかったところは、今後相談の時期方法等、協議していきます。

質問

こみ減量・リサイクル促進事業予算が減額されているが、その理由は。

答弁

町内会や各団体などに協力して頂くよう努力します。

質問

町唯一の、ゴルフ場が倒産したと報じられましたが、ゴルフ場利用税交付金を、歳入で見込んでいます。その見透しについて説明願います。

答弁

町として歳入の面からも、観光の面からも重要な事業であるので、関心をもって動向を見守っていきます。

質問

開陽台牧場と依橋大規模に償還金と負担金で六千四百四十六

万二千円を一般会計より繰入れているが、この償還などは何年まで続くのか、また開陽台牧場は牧場観光事業として、着手しているが、利用度、収支状況から判断して慎重を期してほしい。

答弁

償還は平成十九年まで続くが、依橋大規模牧場についてはその時点で検討します。

開陽台牧場観光事業については慎重に進めたいと思います。

質問

ポランティアセンターについて、社協スタッフはともがんばっているが、まだまだ町民に認知されていないのではないかと総合福祉センターの中にポランティア室が出来るがタウンペーシには中標津町ポランティアセンターとして電話番号も載っていない。

また、前年対比十%の補助金カットで各福祉団体も更に事務局機能に困難をきたすのではないかと、ポランティア室を有効に活用するための視点が必要だと考えるが。

答弁

広報がまだ不足していることも踏まえ、機動的に対応して、厳しい予算の中ではあるが、なんとか町民の期待に応えていきたい。

わがまちの名所



早春の国後島を望む
(並美ヶ丘のビル屋上にて)

市街地から望む山なみ
といえば、秀峰武佐岳を
中心として、西へ標津岳、
西別、摩周、そして阿寒
に至ります。

一方、北へは海別、遠
音別、羅臼岳を経て知床
に至ります。

雨あがりの良く晴れわ
つた日に、東に眼を転じ
れば、市街地の背景に山
なみが見えます。

標津の浜より二十数キ
口の海上にあり、市街地
よりは約四十キロの後方
にあるのは山でなく、望
郷の地、国後島です。

今回は計根別方面から
の入口である並美ヶ丘の
ビルの屋上から二百ミリの
望遠レンズで撮りまし
た。

中標津でも高台に上が
ればはるか国後島が望め
るという思いがけない風
景に出あいました。

編集を
終えて



平成十四年度の中標津町の重
要な予算を決める三月定例会が
終わりました。

当町の財政は、深刻な景気の
低迷が続くなかで、自主的な財
源である町税も期待できず、地
方交付税の制度の見直しに伴い
大幅に減額となることを見込ま
れ、聖域なき緊縮財政の出發と
なりました。

一般会計予算百四十九億八千
四百万円、特別会計予算六十五
億五千五百四十万四千円、公営企
業会計予算五十七億一千九百三
十七万八千円で、総予算額二百
七十二億五千八百四十八万二千
円となりました。

さて、わが国の市町村数の変
遷を見ると、「明治の大合併」
と「昭和の大合併」で、いま国
が後押しをしている、「平成の
大合併」は、全国の三千二百二
十三市町村を三分の一に減らす
のが目標ということです。

合併特例債発行などの「特典」
を定めた「合併特例法」を二〇

〇五年三月末期限切れとなつて
おり、乗り遅れまいとする合併
協議が今年から活発化すると思
います。

ところで、相次ぐ食肉偽装事
件に消費者の憤りは不信感へと
拡大されています。

食肉だけでなく、すべての食
品がそうではないのかとの疑心
暗鬼は、一朝一夕に解消するこ
とは出来ないと思います。

そのために、早急に抜本的な
食品表示の信頼確保策を打ち出
してほしいものであります。

(広報特別委員会一同)

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

中標津町役場 TEL 3-3111
FAX 3-5333

議会事務局 内線502・503 にご連絡を...

発行 / 中標津町議会
編集 / 中標津町議会広報特別委員会